

モルックを楽しもう

モルックとは、フィンランドのカレリア地方の伝統的なキッカ（kyykka）というゲームを元に 1996 年に開発されたスポーツです。母国フィンランドでは、サウナとビールを楽しみながらプレイされている気軽なスポーツです。とても簡単なルールで老若男女問わず楽しめます。

道具

モルック



投げる棒のことをモルックという。下手投げで行うのが基本。

スキttl



木製のピン。モルックを投げてスキttlを倒す。

モルッカーリ



モルックを投げる位置を示す。地面において使用します。

ルール

モルックを投げて倒れたスキttlの内容によって得点を加算していき、先に50点ピッタリになるまで得点した方が勝ち！

完全に倒れていない場合



スキttlが完全に倒れていない（重なって地面についでいない）場合はカウントしません。

50点を越えた場合



50点を越えて得点した場合、25点へ減点され、ゲームは継続されます。

3回ミスが続いた場合



3回連続スキttlを倒せず、失投した場合0点と記録され、失格となります。

3試合の累計などで勝敗を決める際に、同点になった場合に行われます。

- 図のように、手前から[6]、[4]、[12]、[10]、[8]の順にスキttlを並べる。その際モルック（投げ棒）の長さの间隔にする。
- それぞれのチームメンバーが1回ずつモルックを投げる。投げられる度にスキttlは元の位置に戻す。
- 点数は通常のモルックと同じように計算します。（1本倒れたらスキttlの数が点数、数本倒れたら倒れた本数が点数）
- チームの総得点で勝敗を決めます。
- チーム点数が同点になった場合は、1対1でサドンデス勝負をします。[12]だけなど、高得点1本を狙うのが難しいので、コントロールとスキルが必要です。

